

問 18

次の文章の内容と合っているものはどれですか。

天気予報になぞらえれば、上司の叱り方には「梅雨型」と「夕立型」がある。

「梅雨型」の叱り方は、梅雨前線のようにいつまでも停滞し、じとじとと雨を降らせるようなものだ。叱られる側になれば、うっとうしくてやり切れない。いつ終わるともしれない小言が、部下をげんなりさせる。しかも、それから何日も気が晴れない日がつづく。

一方、「夕立型」の叱り方は、ザーッと雨を降らせて、後は何事もなかったようにカラッと晴れる。だから、部下もすぐに通常の仕事に取りかかることができる。いずれにしても、叱り方には、その上司の性格がおおいに関与している。どちらがいいのかは、いうまでもない。

つけ加えるならば、「梅雨型」は、部下の心にダメージとなって残る。ねちねちならだらと叱られては、ただグチを聞かされただけの気分にもなり、嫌気もさす。上司への不信感がつる。上司が自分に対して、どう思っているのか……と疑心暗鬼になる。ひどい場合は、反感をもつ。仕事への意欲も減退するだろう。当然、以後の関係は悪くなる。要は、叱っても効果がないばかりか、ますますマイナスになるのである。

(斎藤茂太『上司と親は選べない だから大切 こんな知恵』新講社より)

1. 上司の叱り方は「梅雨型」より「夕立型」の方がよい。
2. 上司が「夕立型」の叱り方をすると部下が反感をもつことがある。
3. 「梅雨型」の叱り方は上司の性格とは無関係である。
4. 叱られる側にとっては「夕立型」より「梅雨型」の方がよい。